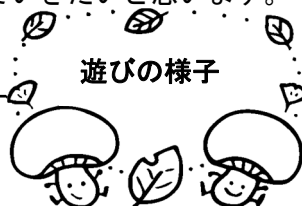


2020 年度 10 月号

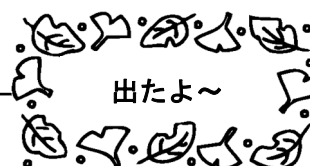
尚徳福祉会 生麦保育園

涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節ですね。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋…過ごしやすくなってきたこともあり、毎日よく食べ、よく動き、遊びを楽しんでいる子どもたちです。昼夜の気温差がある季節でもあるので、感染症には十分に気を付けながら、日々の生活を実りあるものにしていきたいと思います。



遊びの様子

久しぶりに園庭や散歩へ行きました。子どもたちは水遊びが終わり寂しそうな様子ですが、園庭の砂場では、砂の感触を楽しんだり、散歩先の公園内では自由に走ったりしています。保育者がバッタを見つけると、「あー!」と言ってバッタの行方を追ったり、触ったりしました。公園から園に帰る時、友だちや保育者と手を繋いで歩いていると、車を見つけ「ブーブー」と言ったり、保育者が「お花きれいだね」と言うと「きれいだねー」とくり返したり、お散歩の道中も楽しんでいます。今後は更に過ごしやすくなるので、散歩にもたくさん行けたら良いなと思っています。



出たよ～

おしっこが出ると、自分のズボンを触り保育者に教えています。また、排便をすると、鼻をつまんだり、動きが鈍くなったりするので、保育者が「うんち出た?」と聞くと、モジモジしながら頷いたり、気付いてもらえて嬉しそうに頷いたりしています。紙パンツを替えてもらい、保育者が「スッキリしたねー」と声をかけると、嬉しそうな様子の子もたちです。最近では、排泄後のズボンを自分で履こうと頑張っている姿が見られます。なかなか足を通すことが出来ず大変そうですが、履けた時には、「できたー!」と嬉しそうに保育者に報告してくれます。とても可愛らしいです。



給食大好き

保育者が「給食にしようかな?」と言うと、子どもたちはすぐに手洗い場に行き手を洗い、席に座ります。エプロンをもらって、保育者に、つけてほしいとアピールをします。お皿が配られると、自分たちでスプーンを持って口に運び、パクパクと食べ始めますが時々、「やって～」と言って、保育者に甘え食べさせてもらう姿もありました。

おかわりが欲しい時、保育者が「ちょーだい」と言うように声をかけると、子どもたちは「ちょーだい」と言ったり、食器を叩いて訴えることもありました。今後は、食器を叩くのではなく、言葉で伝えることが出来るようになったらいいなと思います。

【お知らせ】 衣替えの季節になります。その日の天候や気候に合わせて衣服の調整出来るよう半袖の他、長袖と長ズボンも数枚ご用意をお願い致します。また、名前が薄くなってしまっているものや名前のないものなど、全ての持ち物への記名をもう一度ご確認ください。